

<p style="text-align: center;"><b>都市政策特殊講義Ⅱ（都市公共政策）</b> Special Lecture on Urban Policy Ⅱ (Urban Public Policy)</p>	<p>(教員名) 五石 敬路、小玉 徹、久末 弥生、 水上 啓吾</p>	
<p>都市政策研究領域 特殊講義科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>必修</p>
	<p>1 単位</p>	<p>2018 年度・後期</p>
<p><b>I 科目の主題</b> 創造都市成立のための都市ガバナンス・行政経営のあり方や、創造的でサステナブルな都市環境を実現するための都市基盤や都市再生の実際に関する研究について講義を行う。講義はオムニバス形式で行い、単位の認定は担当教員の合議制によって行う。</p>		
<p><b>II 授業の到達目標</b> 都市公共政策の専門性のたかい各テーマについての最先端の動向を分かりやすく説明する。</p>		
<p><b>III 授業内容・授業計画</b></p> <p>1 都市環境・サステナビリティ論【小玉 徹】：ポスト工業化時代においてますます重要性をましてくる都市のサステナビリティ達成のための戦略として、都市基盤、特に都市住宅政策の国際的な比較・社会的排除の克服や、都市再生の研究等について講じる。(1) 都市再生論について(都市のサステナビリティに関する先端的事例、政策、理論を国際比較し、都市再生のための政策研究を深化させる)、(2) 住宅政策の国際比較と日本の課題についての考察、(3) ポスト工業化社会における「都市再生」の国際比較、(4) 福祉国家の再編をめぐる論点と「構造改革」の評価</p> <p>2 都市ガバナンス・行政経営論【水上 啓吾】：創造的なまちづくりに対して、行政過程・政治過程、特に都市ガバナンス・制度改革・財政運営などの観点からアプローチする研究や、創造都市に不可欠な分権時代における公共組織のマネジメントのあり方や戦略的意志決定・リーダーシップ等に関する研究を講じる。(1) NPM (ニューパブリックマネジメント) の潮流と理論的枠組み、(2) 日本型NPMの実際、(3) パブリックセクターの組織アプローチ</p> <p>3 行政訴訟、生活保障・福祉政策等【久末 弥生、五石 敬路】：現代社会におけるさまざまな行政訴訟について、国際的視点も加えて研究する。また、日本の生活保障と生活保障の特徴について「福祉」と「雇用」の両面から捉え、各国も含め、福祉政策の展開と変容を概観する。(1) 日本、アメリカ、フランスの行政訴訟の動向と課題、(2) 都市の土地利用にかかる政策形成のモデルケースや実例、(3) 日本の生活保障の特徴、戦後の展開と近年の改革動向、新しい生活保障の構想、(4) 各国の多様な福祉政策の体系・理念、近年の福祉改革の動向。</p>		
<p><b>IV 事前・事後の学習内容</b> 各教員が授業中指示する内容の予・復習をする。</p>		
<p><b>V 評価方法</b> 平常点・レポート等</p>		
<p><b>VI 受講生へのコメント</b> 各教員の指示に従う。以下の教材の指示された部分は予め読んでおく。</p>		
<p><b>VII 教材</b> 授業内で別途指示する。</p>		